

# ペア音読

対象： 小1からできる  
 人数： 何名でも  
 班の数： いくつでも  
 時期： 席替えした時が効果的  
 いつ： 国語科  
 時間： 4分  
 場所： 教室  
 タイプ： IB, COM  
 準備物： 詩や短い文章など

	低	中	高
手軽さ			①
危険度	①		
楽しさ		①	
運動量	①		
効き目		①	

## 解説・ねらい・セールスポイント

お隣さんと仲良くするペアの関係を作っていく。「ペア学習」の一番最初のステップ。

「アイコンタクト」や「場に応じた声の大きさ」などのスキルを身に付けていくための最初のステップにもなる。

ペアの距離的空間、心理的空間が縮まる。

## 【手順】 ※切り口（実際の始め方、ストーリーなど）→実際の活動→振り返りやまとめ

- ① 教科書教材，または投げ込み教材を配付する。短いもののほうがよい。  
 下記は，投げ込み教材例

ねがひ  
 人と人のあひだを  
 美しくみよう  
 わたしと人のあいだをうつくしくみよう  
 疲れてはならない

八木重吉

- ② 教師の範読（読みの確認）  
 ＊ 「お隣さんと確認！」と補助指示（歴史的仮名遣いや難漢字の確認）  
 ③ 教師と生徒全員との交替読み（教師と生徒の交流）  
 ④ 交替読み（生徒ペアの交流）  
 ⑤ 条件読み  
 ＊ 「条件読みをします。  
 条件1，お隣さんにだけ聞こえる声で読みます。  
 条件2，読んでいる途中，一度だけ，お隣さんの目を見ます。」

## 【効果・反応・感動秘話・失敗談など】

- ①～④まで，テンポよくやること  
 ⑤で生徒は，「ひえ～」「わあ～」「きゃあ～」などと言いながらも，喜んでやります。

## 【応用例】

- ・ 席替えしたときが効果的。雰囲気良くなる。
- ・ 通路を挟んだお隣さん，席の前後などでもできる。
- ・ ペア音読はロールプレイの前段階にもなる。

## 【講釈】

「汝の隣人を愛せよ。」「フルバリューはまずお隣さんから」  
 「みんなは総合的な学習の時間に『福祉学習』を行っている。『世界の貧しい子供たちのために』『障害者福祉をたんとかしなければならぬ』『老人福祉のために』という。遠くの人たちも大事。でも，まずは，汝の隣人を愛せ。隣人とのフルバリューを」